

これまでの合併特例債の使い道と今後の予定をお知らせします。



財政課新人・丸尾が
お伝えします

笠間市総合計画に基づいた事業のうち、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現する事業の財源として、合併特例債を活用しています。具体的には、旧市町を結ぶ道路の整備や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校の耐震化、認定こども園や地域交流センターの整備など市民の生活に身近な事業に活用していて、平成18年度から28年度までの11年間で約151億円を借り入れています。

合併特例債とは

合併特例債とは、合併した市町村が、新市建設計画に基づいて行う新しいまちづくり事業の財源として借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

将来支払う返済金の70%が普通交付税によって国から補填される有利な借入金です。

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10力年度に限られ、笠間市では、平成27年度までとなっていました。震災によって被災した特定被災地区については期限を延長することが可能となり、期間を平成37年度まで延長しました。



地域交流センターともべ



市民センターいわま



来栖本戸線

これまでの主な使い道

平成28年度

道路整備では、南友部平町線等の整備を進めました。また、その他の事業として、認定こども園等の整備を実施しました。

道路整備事業

南友部平町線	4,380万円
笠間2237号線	3,740万円

都市整備事業

友部駅周辺整備 (友部1175・1180号線)	6,550万円
岩間駅西地区整備	6,200万円

学校施設等整備事業

岩間第一小学校校舎改修	1億510万円
笠間中学校武道場建設	8,820万円

その他

認定こども園整備	5億9,800万円
地域交流センター整備	4億1,140万円

平成28年度は、合計25億3,560万円を活用しました。

平成27年度まで

旧市町を結ぶ道路の整備や老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強などの事業を実施しました。

道路整備事業

笠間小原線(桂町工区)、大淵飯田線、友部池野辺線、友部1級3号線(小原)ほか

都市整備事業

岩間駅駅舎・自由通路等
岩間駅東大通線、友部駅周辺整備

学校施設等整備事業

改築 岩間中学校、笠間学校給食センター
耐震補強 友部中学校、笠間小学校、
岩間三小体育館、笠間中学校、
宍戸小学校、岩間第二小学校

その他

まちづくり振興基金積立、市民体育館大規模改修、
認定こども園整備、北山公園キャンプ場整備

平成18年度から27年度までの間に、合計125億9,350万円を借り入れました。